

宅建講座のランキングをつけるにあたって、以下の評価基準を設けています。

今回のランキングは宅建の通信講座をお探しになっているユーザー様にとって、最適な講座を紹介できるよう、評価基準を設定しております。

どの講座が合うかは人それぞれです。一つの日安としていただければ幸いです。

【評価基準】

当サイトでは、単なる「安さ」や「知名度」だけで順位を決めるのではなく、「ユーザーが合格するために本当に必要な要素は何か」を徹底的に分析し、以下の3つの軸・計12項目の詳細指標に基づいて厳正に点数化（各5.0点満点）しています。

1. カリキュラム・教材（配点 5.0）

講義やテキストの質は「学習継続率」に直結します。以下の要素を複合的に評価しています。

- 講義の質と相性：講師の解説力、聞き取りやすさ、1講義あたりの時間の適切さ（スキマ学習への配慮）。
- テキストの視覚的理解：フルカラーの有無、図解やイラストの豊富さ、初学者が直感的に理解できるレイアウトか。
- 学習システム（eラーニング）：スマホアプリの操作性、進捗管理機能、問題演習の利便性など、デジタル学習の完成度。
- カリキュラムの設計思想：「合格点（35点前後）狙いの効率重視」か、「高得点狙いの網羅性重視」か、その講座のコンセプトが一貫しているか。

2. コスパ・費用（配点 5.0）

単に「定価が安い」ことだけが高評価ではありません。リスクヘッジや特典を含めた「実質的な価値」を評価しています。

- 実質負担額：定価に加え、教育訓練給付制度（20%支給）やリスクリング支援（最大70%補助）利用時の最終コスト。
- 割引・キャンペーン：早期申込、再受講、他社乗換などの割引制度の豊富さと割引率の高さ。
- 保証制度（リスク回避）：「不合格時全額返金」や「お祝い金」、「不合格時の受講期間延長」など、金銭的リスクをどれだけ軽減できるか。
- 教材の包含性：模擬試験や冊子テキストが受講料に含まれているか、別売りオプションかの透明性。

3. 実績・サポート（配点 5.0）

通信講座特有の「孤独」や「疑問」を解消できる環境と、スクールとしての信頼性を評価しています。

- 合格実績の透明性：「合格率 (%)」を公表しているか、「合格者数 (名)」を公表しているか。算出根拠が明確か。
- 質問対応の充実度：質問回数の制限(無制限かチケット制か)、回答までのスピード、回答の丁寧さ。
- 学習伴走サポート：カウンセリング制度、定期的なホームルーム (ライブ配信)、学習スケジュールの自動作成機能など、モチベーション維持の仕組み。
- 企業・講師の信頼性：長年の指導実績、模試の的中率、講師の専門性や発信力 (SNS 等含む)。